

V 標準化会議の事業計画

1. 概要

標準化会議は会員ニーズに基づいた規格づくりを進めており国内標準化活動では JIS 3 規格改正作業及び JSMA 規格の総点検作業に取り組む。一方国際標準化活動では ISO/TC227 ばねの規格開発を継続実施する。日本提案の「ばね記号」等の原案作成作業を推進し 11 月にベネチアで開催される第 7 回 ISO/TC227 ばね国際会議に参加し ISO 規格化に向けての原案審議を行う予定である。

2. 活動の詳細

2. 1 国内規格関係

2. 1. 1 JIS 規格関係

1) 平成 22 年度後期 JIS 原案作成公募制度を活用し B2808 「スプリングピン」の改正原案作成委員会活動を 10 月まで実施する。

2) 平成 23 年度後期 JIS 原案作成公募制度を活用し B2706 「皿ばね」及び B2711 「ショットピーニング」の改正作業の申請及び 12 月以降の活動を計画する。

2. 1. 2 JASO 規格関係

本年度も例年どおり要素部会、車体・シャシ部会の活動に参加し規格改正作業を進める。

2. 1. 3 JSMA 規格関係

昨年度後期から既存 47 規格の総点検作業を開始した。不整合及び誤記箇所の抽出を目的とし規格統合化なども視野に入れながら 9 月末を目標に進め、その後対応方針を討議し、修正作業に入る予定。

2. 2 ISO 規格関係

2. 2. 1 ISO/TC227 ばね関連の国際標準化活動

(1) 第 7 回 ISO/TC227 国際会議

11 月 11 日ベネチアにて開催予定の国際会議に参加し、以下の議案を討議する予定。

1) 「熱間成形圧縮コイルばね」FDIS 案の審議。

2) 「ばね記号」のDIS 案の審議。

3) 「重ね板ばね」の新規開発可否討議。

(2) ESF ビジネスミーティング

9 月に欧州で開催予定の会議に相羽議長が出席し、ISO/TC227 ばねの進捗状況他標準化関連情報交換を行う予定。

2. 2. 2 政府制度の活用

下記の政府制度を活用し、ばねの国際標準化活動の推進を図る。

(1) 国際標準開発

中国提案の「熱間成形圧縮コイルばね」、日本提案の「ばね記号」の ISO 規格化を図る。

(2) 技術協力事業

インドネシア国内の標準化活動をさらに活性化させることを目的に研修を 10 月に実施の予定。